



校訓
『進取創造』

全校生徒
563名

わかむぎ
夢・笑顔・誇り・絆

コミュニティ・スクール
昭和町立押原中学校
学校だより NO.11
令和3年3月19日
発行者：校長 小林達也

第74回 卒業証書授与式

3月11日、陽光に包まれて第74回押原中学校卒業証書授与式が行われました。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、御来賓は塩澤町長様のみ。在校生の姿もなく、卒業生とその保護者、教職員のみでの卒業式となりました。例年行われている卒業生の合唱発表や、3年間を振り返る呼びかけなどは行われず、DVDによる過去の合唱や代表によるナレーションだけの発表となりました。それでも、174名の卒業生は、証書授与や答辞など立派な姿を見せてくれました。卒業式の後、最後の学活を終え、笑顔で巣立っていく彼らの姿からは、この学び舎で培った誇りと絆を感じ取ることができました。

卒業に際し「ふるさと昭和に育ち、学んだことを誇りとし、校訓である『進取創造』の精神をその胸に刻んでください。そして『いつか やがて きっと』その志を遂げてください」と式辞を締めくくりました。在校生代表の塩田一颯さんの「送辞」、卒業生代表の小関遼さんによる「答辞」、DVDによりこれまでの合唱を振り返りました。卒業生の中には、思わず流れる感動の涙もあり、これまでの3年間に込める思いがその場にいる私たちに伝わってきました。

例年のような取り組み期間はなかったものの、例年のように数曲の合唱披露はできなかったものの、その分中身の濃い、その一瞬に卒業生のすべてが凝縮された卒業式であったような気がします。本当に素晴らしい卒業式をありがとうございました。

1・2年生の皆さん。3年生から託された思いをしっかり受け止め、これからの学校生活を充実させてください。一人一人が、進級への気構えをしっかり整えましょう。



「継承式」で伝統を引き継ぎました

新型コロナウイルス感染症の影響から、今年も在校生は卒業式に参加できませんでした。その代わりに、生徒会が「継承式」を企画しました。3月9日に行われた「継承式」は、3年生への「ウィンドウ・メッセージ」や「応援」など、押原中の文化や伝統をしっかり引き継ぐ決意を示した式でした。1・2年生の今後に期待です！

1年間 ありがとうございました

コロナ禍の令和2年度が終了しようとしています。様々な制約の中での生徒たちの頑張りや成長は、私たち職員にも数々の感動をもたらしてくれました。保護者、地域の皆様には本校教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。新年度も、私たち教職員は、生徒のより良い成長のために全力を尽くす所存です。今後とも、よろしくお願いいたします。

4月のおもな予定

- | | |
|------------------------|---|
| 6日(火) 新任式、始業式 | 29日(木) 中巨摩選手権1日目 |
| 7日(水) 第75回入学式 | 30日(金) 授業参観・PTA総会 |
| 8日(木) 発育測定、給食開始 | (3年生の修学旅行は、秋以降に延期します) |
| 9日(金) 新入生オリエンテーション | (例年4月に実施していた3年生の「全国学力・学習状況調査」、及び2年生の「山梨県学力把握調査」 |
| 12日(月) 第1回学校委員会 | は、いずれも5月に実施予定です) |
| 20日(火) 家庭訪問(22・23・26日) | |

* 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、予定の変更が有り得ることをご承知おきください。

◇◇◇ 令和2年度学校評価について ◇◇◇

学校教育に対してのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様からの回答状況についてお知らせし、教職員の自己評価も合わせて来年度への課題等を示させていただきます。詳しくは学校ホームページに学校評価（自己評価）を掲載しました。ご覧ください。

なお、表の中の数字は肯定的な回答（Aと思う、Bやや思う）の割合を示しています。その数値を基に考察をいたしました。

R2年度 保護者アンケート分析

上段 Aーと思う、Bーややと思う 下段 A+B 80%以上は高評価（%） 70%以下は低評価（%）	回答数(回答率) 1年202名(96%)、2年171名(96%) 3年158名(91%)、全校531名(94%)	
---	--	--

評価項目	1年		2年		3年		全体		考察
	A	B	A	B	A	B	A	B	
	81		85		90		84		
① 学校教育目標や指導重点の達成に向けて、様々な教育活動を行っている。	42	39	43	42	43	47	42	42	高評価項目(昨年比1%減) 昨年度に比べ1%数値は下がったが、概ね評価されたと考えられる。来年度も、教育課程全般で学校教育目標達成に向け、努力していく。
② 学校の様子や、授業や行事の参加、たよりや懇談などで知ることができる。	54	33	47	41	55	39	52	37	高評価項目(昨年比2%減) 学級、学年、学校だよりやHP等で情報発信を丁寧に行っている成果と言える。しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、学校開放日や授業参加等がなくなったことで、昨年度よりも数値が減ったと考えられる。
③ 生徒が理解できるよう、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	28	47	23	46	31	40	28	42	(昨年比8%増) 昨年度より改善が見られる。臨時休業があったため、より授業の内容・進度に力を入れた。今後も学校全体で校内研究や研修にも力を入れ、研究授業等を積極的にを行い、先生方の授業力の向上に力を入れて行く。
④ 生き方を考え、進路や働くことについての進路学習を行っている。	24	43	26	45	38	41	29	43	(昨年比4%増) キャリア教育については、今年度からのキャリアパスポートの導入を踏まえ、より系統的かつ有効活用できるように取り組んでいく。今後も、保護者に対する説明や情報発信をより丁寧に行っていく。
⑤ 楽しく、積極的に参加できるよう、行事や生徒会活動を工夫している。	32	43	40	37	49	38	40	38	(昨年比1%減) 今年度は、行事の中止や内容変更が多かったため、昨年度に比べ1%減ったが、今後も世の中や生徒の様子をしっかりと理解しながら、生徒の積極性や自発性を育て、保護者に対して丁寧に情報発信していく。
⑥ 通信表は、生徒の学習評価や学校生活の状況をわかりやすく伝えている。	44	44	47	43	53	40	47	43	高評価項目(昨年比4%増) 高評価を得ている項目であるが、共通システム導入により今年度より通信表における表記の変更があるため、よりわかりやすい内容になるようにする。また三者懇談において、保護者に対して丁寧に説明すると同時に、日頃から保護者との信頼関係づくりを大切にしている。
⑦ 挨拶、身だしなみ、時間・きまりの厳守などの生活指導に取り組んでいる。	55	32	44	40	47	50	49	40	高評価項目(昨年比1%増) 昨年度同様、高評価の項目である。日ごろから生徒たちの様子をしっかりと把握し、寄り添った指導になるよう努力している。また生徒会本部や学年生徒会等のリーダーを中心に生徒たち自身が主体的に呼びかけあって守ろうとしている。
⑧ 生命を尊重する態度や思いやりの心を育てる授業や様々な活動を行っている。	37	37	31	40	41	41	36	39	(昨年比3%減) 今年度は道徳の講演会や赤ちゃんだっこ体験、認知症サポーター講座等、心を大切にする取り組みがコロナ禍で中止になった。来年度は内容をさらに充実させ、日常の生活からしっかりと取り組んでいく。
⑨ 保健指導や防災訓練、安全点検など、健康管理や事故防止に配慮している。	39	39	40	44	53	36	44	40	高評価項目(昨年比1%増) 実践的な避難訓練や地区別協議防災訓練が定着し、各地域でも生徒たちの防災意識が強い。今年度は地区別協議防災訓練はできなかったが、今後も地域や家庭と連携しながら、主体的に取り組んでいくように指導していく。
⑩ 生徒や保護者の学校生活上の悩みなどの相談に、親身になって対応している。	39	36	35	40	38	46	37	41	(昨年比4%増) 今年度も担任や学年主任、SCなど、生徒や保護者の相談には休日や時間問わず、真摯に対応できるよう努めている。今後も、コロナ禍の不安など日ごろから生徒理解に努め、家庭との連携もしっかりと行い、相談しやすい関係づくりを行っていく。
⑪ いじめや問題行動、不登校への予防及び早期発見、適切な対応を行っている。	27	30	23	36	26	32	26	33	低評価項目(昨年比4%増) 昨年度より4%向上しているが「分からない」の回答が23%と高い数値になっている。この項目への対応は、細かくツリケータン部分が多いため、保護者にとっては分かりにくい点もある。今後も個別には迅速な対応をとっていくと同時に、全ての生徒を対象とした教育を行い、家庭との連携を大切にしていく。
⑫ 授業や行事の参加、PTA活動など、参加しやすいように配慮している。	35	43	42	40	45	40	40	41	高評価項目(昨年比同) 今年度は多くの行事やPTA活動が、中止や内容変更になったが、その分学校からの連絡や情報発信を心がけた。今後も日曜等に配慮し、学校開放やPTA行事に参加しやすい環境を工夫し、HPやメールを使って情報発信をしていく。
⑬ 学校生活について、家庭への連絡や情報提供をきめ細かく行っている。	34	41	33	40	39	40	35	40	(昨年比3%増) 学級担任を中心に日頃から家庭と連絡や相談体制がもてるよう努力していく。また今後もHPによる情報発信も日ごろの生徒の様子も伝えられるよう努力する。生徒に対しては、学校からの配布物をその日のうちに必ず返すように指導していく。
⑭ 子どもさんは、学校生活を楽しみにしている。	51	37	40	36	60	30	50	34	高評価項目(昨年比2%増) 今年度は行事等の変更や中止が多く心配な項目であったが、その分できる行事には思いを込めてきた。また部活動もより中身を充実させるように努力している。今後も生徒がいまいる学校生活を送っていけるよう授業、部活動、行事等すべての教育活動が充実するよう努力し、生徒にとって居場所のある学校づくりを目指していく。
⑮ 子どもさんは、予習や復習など(塾を除いて)家庭学習に取り組んでいる。	25	35	25	32	23	38	24	34	低評価項目(昨年比6%増) 毎年課題となっている項目であるが、昨年度よりも6%向上している。臨時休業中も含め、家庭学習の大切さも全校体制で指導してきた。今後も家庭学習の指導を具体的に考え、家庭学習の充実に向けて、保護者と連携し改善を図っていく。
⑯ 子どもさんは、学校でのことを話して、よく話をしてくれる。	38	35	40	32	35	35	38	34	(昨年比8%増) 昨年度より6%向上した。中学生は、小学校の時より頼と話さなくなることは当然予想されることである。その中でも、家庭において話せる材料になるような情報を学級、学年、学校だよりやHP等で積極的に発信していく。
⑰ 子どもさんの所有する携帯について約束事を決めている	53	28	41	33	39	37	45	32	(昨年比2%増) 学校でも日ごろから携帯、スマホの使用については重点的に指導している。生徒指導連携でも携帯、スマホ使用について家庭に連絡、情報提供をしてきたが、今後も家庭と連携、協力しながら取り組んでいく。

